

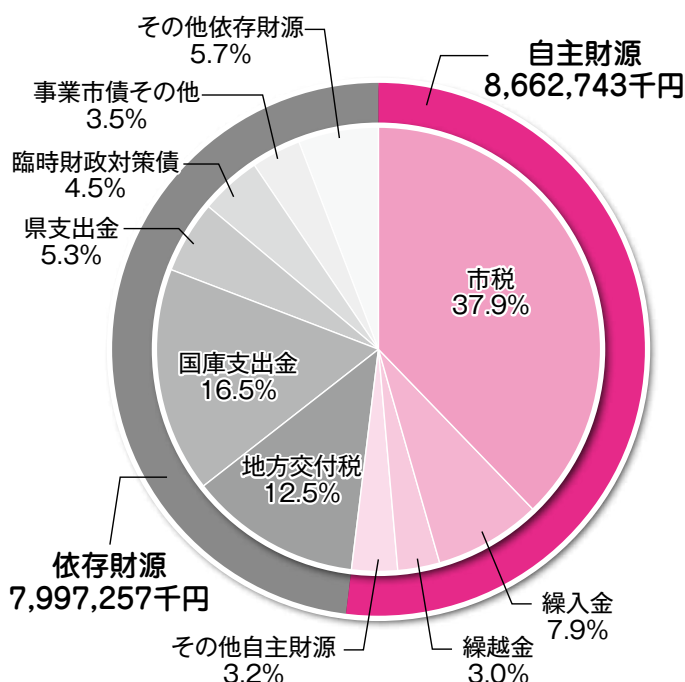
平成29年度 予算賛成多数で成立

一般会計

166億6千万円

歳入構成

歳入内訳



歳入内訳

(単位:千円)

区 分		予算額	割合
自主財源	市 税	6,320,578	37.9%
	繰 入 金	1,314,253	7.9%
	繰 越 金	500,000	3.0%
	その他の自主財源	527,912	3.2%
依存財源	地 方 交 付 税	2,080,000	12.5%
	国 庫 支 出 金	2,743,338	16.5%
	県 支 出 金	879,919	5.3%
	臨時財政対策債	750,000	4.5%
	事業市債その他	587,000	3.5%
	その他依存財源	957,000	5.7%
合 計		16,660,000	100%

歳入

市税は前年度比3.0%増の63億2058万円
 積立金からの繰入と繰越金の増額
 社会資本整備総合交付金38%を見込む

平成29年
3月定例会

平成29年3月定例会は、2月20日から3月17日までの26日間の会期で開かれました。
 今定例会では、条例改正案13件、平成28年度各補正予算案6件、平成29年度一般会計予算など予算案8件、人事案1件など議案28件、および諮問3件、意見書案1件が提案されました。
 なお、予算案提案に先立ち、市長より新年度の施政方針が述べられ、その後審議に入り、いずれも可決、同意されました。

歳入

地方の景気回復の実感はまだないが、雇用環境の改善の兆しもあり、市税は3%増の見込みとなっております。
 また、基金積立金の取り崩しと繰越金の増を見込み、自主財源は52%となりました。
 地方交付税は20億8千万円とし、国庫支出金の社会資本整備総合交付金については、事業費の38%を予定しています。
 さらに、市債は13億87百万円予定し、その内赤字地方債と言われる臨時対策債の割合が多いが、依存財源は48%となっています。

歳出

生活支援のために扶助費38億9千万円
主な事業として駅舎整備・古川橋架替・小中学校エアコン設置など

反対討論

太平 泰二議員

民間橋上駅舎建設を最優先する一方で、安心・安全な予算が減らされています。例えば、大中路河川改修工事28年度は3737万8千円でしたが、継続すべき29年度はゼロ、また道路補修や舗装工事も1千万円減らされ認められません。

賛成討論

小林 啓子議員

民生費では、子育て支援事業の一つとして祖父母手帳作成経費が新たに計上され、消防費では、防災力向上のための無人航空機ドローン経費が計上されました。教育費については、市内全小中学校にエアコン設置が盛り込まれました。

小河原 浩和議員

平成29年度予算は、第5次幸手市総合振興計画に基づき、限りある財源を適切かつ効果的に配分され、子育てや教育、福祉、防災等、各施策の充実による「都市と自然が調和した、安心・安全で活力あるまち」の実現に向けた予算編成となっております。高く評価します。

木村 治夫議員

市税は、対前年度比1億8540万8千円、3%増である。国の地方創生総合戦略に基づく国庫補助金の確実な確保、また大規模事業の実施、市の将来の財政運営に配慮しつつ、財政規律を堅持し、確実なまちづくりを全力で取り組むことを要望します。

改正議員報酬等が反映されている点は遺憾。さらに駅舎・自由通路の供用に合わせた編成だが、小学校トイレ改修・西口区画整理事業繰出し等評価。駅舎整備後も幸手久喜線拡幅につながる区画整理が失速せぬよう強く要望。

中村 孝子議員

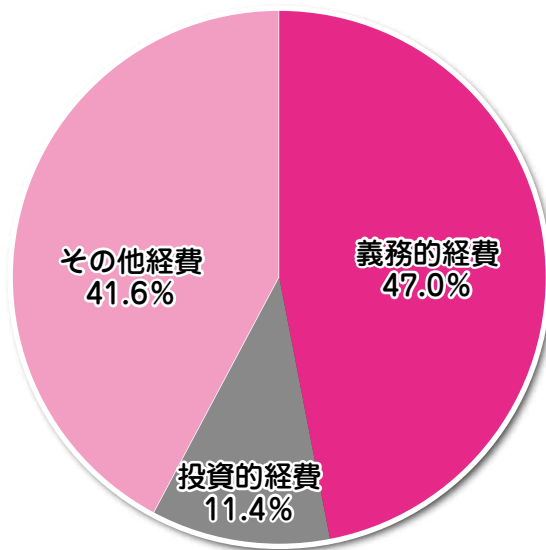
性質別歳出内訳

(単位:千円)

区 分	予算額	小計(割合)
義務的経費	人件費 2,747,586	7,838,687 (47.0%)
	扶助費 3,887,826	
	公債費 1,203,275	
投資的経費	普通建設事業 1,906,558	1,906,558 (11.4%)
その他経費	物件費 2,657,266	6,914,755 (41.6%)
	維持補修費 82,890	
	補助費等 1,613,510	
	繰出金 2,497,947	
	その他 63,142	
合 計	16,660,000	

歳出構成

性質別歳出



特別会計

特定の収入を特定の事業のために使う会計
(水道事業を除く)

会 計 名	予 算 額
国民健康保険特別会計	7,756,265千円
後期高齢者医療特別会計	517,702千円
介護保険特別会計	4,014,880千円
農業集落排水事業特別会計	29,544千円
公共下水道事業特別会計	1,113,057千円
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	964,765千円
合 計	14,396,213千円

幸手市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例を賛成多数で可決

平成9年以降改定されておらず、今回報酬審議会に諮問した結果、改定する旨、答申されました。

反対討論

民間橋上駅舎建設等で46億円もの借金を増やし、議員報酬引き上げでは市民に信頼される議会とは言えない。また、同規模団体との比較も検討項目の一つだが、適正な議員活動の対価に關し、十分な合意形成がされたとは思えない。

賛成討論

議会は合議制の意思決定機関として、議員の責任と役割は大きく、専門性、専任制が必要で、幅広い世代や立場の人材が求められています。議員報酬は、働き盛りの子育て中の人たちの生活が、成り立つことも必要で、公正性、透明性の上からも、第三者的報酬等審議会の答申に沿うべきものです。

埼玉県東北部の治水・排水対策事業の促進を求める意見書 【全会一致で可決】

幸手市・久喜市・杉戸町は、関東平野のほぼ中心に位置し、北に利根川、東に江戸川が流れる地味豊かな地域である。

平坦な地形のため、台風や集中豪雨時に低い場所には雨水が溜まり、道路冠水被害、床下・床上浸水被害が発生している。また、幸手市、杉戸町の主に倉松川沿線においても、幾度となく浸水等の被害が発生していることから、倉松川の改修整備の促進・大島新田調節池の保水・遊水機能強化を図って頂きたい。

埼玉県管理の中川、倉松川、青毛堀川等の河川改修は鋭意進められているものの、未改修部分の残存に伴う流下阻害が内水被害の一因ともなっており、これら河川の堆積土砂の浚渫等の維持管理による流下能力の確保はもとより、整備促進が急務となっている。

よって埼玉県においては、幸手市・久喜市・杉戸町と連携し、埼玉県東北部の治水・排水対策事業の促進を強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

埼玉県知事様

幸手市議会議長 手 島 幸 成

幸手市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例（一部抜粋）

議員報酬月額の変定（第2条関係）

ア 議長	419,000 円→432,000 円
イ 副議長	370,000 円→382,000 円
ウ 議会運営委員会委員長	354,000 円→365,000 円
エ 常任委員会委員長	354,000 円→365,000 円
オ 議員	343,000 円→353,000 円

施行期日 平成 29 年 4 月 1 日

幸手市男女共同参画を推進する条例を全会一致で可決

男女共同参画を総合的かつ計画的に推進し、全ての男女の人權が尊重され、個人としての能力を發揮して自主的に行動できる男女共同参画社会の実現に寄与することを目的として、この条例を制定するものです。



幸手市議会議員政治倫理条例に反する事件について

倫理条例第11条に基づく公表

小河原浩和議員、藤沼貢議員、手島幸成議員については、幸手市議会議員政治倫理条例第4条第1項に反することが明白になりました。当事者もこれを認め、深く反省をし、謝罪しました。

人事案件

〔議案第28号〕

固定資産評価審査委員会委員

金子 和彦氏

を選任することに同意しました。

〔人権擁護委員〕

諮問第1号

新井 和博氏

諮問第2号

小林 弘和氏

諮問第3号

小林 達郎氏

を推薦することに同意しました。